

お知らせ

令和6年12月12日

社会医療法人厚生会 中部脳リハビリテーション病院
病院長 篠田 淳

中部脳リハビリテーション病院では下記の要領で臨床研究を予定しています。

- 研究題名** 早期アルツハイマー病に対するレカネマブ投与後の血流変化
目的 早期アルツハイマー病に対するレカネマブ投与後の血流変化を調査し、その特徴と意義を明らかにする。
対象 2024年2月1日から2024年11月30日の間に中部脳リハビリテーション病院でアミロイドPETを受けた患者
方法 患者背景と臨床経過、当院で施行した検査結果（採血検査、画像検査、心理検査、生理検査など）を収集しレカネマブ投与後の血流変化を後方視的に調査し解析する。それらの臨床経過と検査結果との関連を検討する。
人権擁護 ヘルシンキ宣言に従い、被験者のプライバシーを尊重し、画像データは連結不可能匿名化の上保存し、被験者が特定できないように特別の配慮を行います。
研究代表者 今井直哉（中部脳リハビリテーション病院・中部療護センター 脳神経外科）

中部脳リハビリテーション病院では患者様より得られた検査データを研究に使用することがある旨、院内に掲示しています。院内に保管してあるこれらの患者データを使用する研究を行う場合には、その都度、具体的な研究の概略を示し改めて研究に関わる患者データ使用に関するお知らせを行うことにしています。本研究(上記)では2024年2月1日から2024年11月30日に中部脳リハビリテーション病院に受診された患者様の経過や、検査結果のデータを使用致します。

この件につきまして疑義がございましたら令和7年1月31日までに下記までお申し出ください。

社会医療法人厚生会 中部脳リハビリテーション病院
事務長 坂下 重吾